



## 戦後の政治地理学

- ・戦勝国における展開
  - ・ 英米：60年代初頭まで下降、70年代から復興。80年代以降本格的展開。
  - ・ フランス：1976年にラコスト中心に*Hérodote*創刊。
- ・敗戦国における展開
  - ・ 日本：60年代まで活発、以後80年代まで停滞。90年代から研究増加。
  - ・ ドイツ：敗戦直後のゲオポリティク復活の動きは挫折。80年代以降地政学的研究増加。

2

## 日本の政治地理学（80年代まで）

- ・ 日本政治地理学会（1956-1971）の活動
  - ・ 地理教育への政治地理学の導入
- ・ 行政村・市町村合併の研究
  - ・ 歴史地理学的・形態論的アプローチ
- ・ 英語圏研究の断続的紹介
- ・ 70～80年代の**停滞**
  - ・ マルクストによる日本地政学批判

3

## なぜ活性化しなかったか

- ・ **国家**という分析単位の問題
  - ・ 日本地政学の影響も
  - ・ 国際政治・国内政治において強い権力を持つ主体であるにもかかわらず
- ・ 翻訳された教科書や理論の問題
  - ・ テイラーのもののみ例外
- ・ 紹介者・その他の研究者がどう日本に適用できるか示さない
- ・ 非政治化という一般的状況
  - ・ マルクスト（左派）地理学者の地政学（資本主義・国家）批判と裏腹？

4

## 「非政治化」（政治への盲目）への批判

- ・ 地理学の思想史・学史→国家権力の拡張に資する政治性を持つ
- ・ 現代地理学 = Geopolitikの遺産から解放されていない
  - ・ 行政施策や地域開発政策などへの関与（応用）の政治的意味が問われていない
- ・ 政策に対する批判性を備えた政治地理学が必要
- ・ しかし、あまり当時の地理学に影響与えず
  - ・ 批判だけでは政治・政策へのアプローチが見えてこない
  - ・ 「政治的なるもの the political」研究の台頭（日本では1990年代）まで待たねばならない

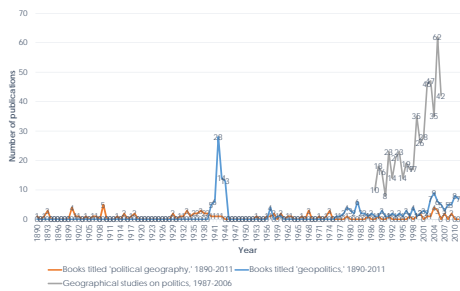
5

## 日本の政治地理学（90年代以降）

- ・ 冷戦構造の崩壊
  - ・ 新しい政治経済構造の形成
  - ・ **研究の増加**
- ・ 人文社会科学における新しい思想潮流
  - ・ ポストモダニズム、ポスト構造主義、脱構築
  - ・ 社会・文化事象における政治性への着目
  - ・ 欧米アカデミア全般の「政治化」
- ・ 英米地理学での変化を導入（後追い？）
  - ・ 批判社会理論と大阪市大スクール

6

19世紀以降の政治地理学的研究の動向 (Yamazaki, et al. 2012)



7

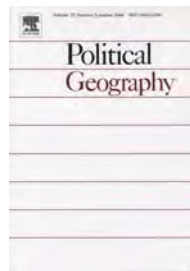
政治地理学の現在

- 'P'と'p'
  - 政府機関・公式の政治を扱う伝統的アプローチ
  - 日常生活での権力関係 (政治的なるもの the political) を扱う新しいアプローチ
  - 両者をどう接合するか
- 日本の人文地理学をめぐる状況
  - 政治地理学的視座の未確立 (権力をどうみるか)
  - 体系的教育・訓練の不在
  - 研究スケールの問題 (ミクロ・スケールの絶対視)
  - 政治 (対立とその調停) の日常化、戦争の常態化にどう対処するか

8

理論参照の問題性

- 英語圏雑誌のパワー
- 引用の問題点
- 研究の「貿易不均衡」



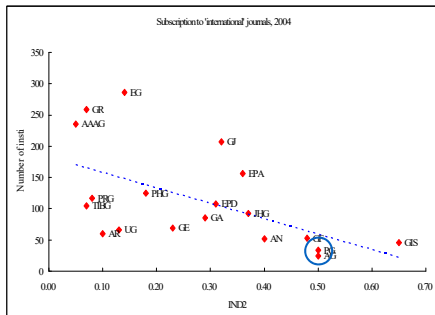
9

Table 1. Possession of international geographical journals by Japanese institutions, 2004

International Journal	Number of Japanese institutions (No. Insts.)	Number of non-subscribers (No. Insts.)	Number of citations in all English citing journals (No. Citations)
Economic Geography	288	174	26
Geographical Magazine	279	207	12
Journal of the AAG	235	229	86
Geographical Journal	207	112	11
Environment and Planning A	156	139	36
Progress in Human Geography	125	118	68
Professional Geographer	117	108	18
Environment and Planning B	104	111	20
Thematic Studies	105	103	44
Journal of Political Geography	93	117	27
Geographical Research	85	118	1
Geography	69	112	1
Urban Geography	66	113	19
ASA	66	101	26
Cartographica	63	148	11
Cartographica	63	147	11
International Journal of GIS	46	145	11
<b>Political Geography</b>	<b>33</b>	<b>118</b>	<b>106</b>
Applied Geography	24	110	1

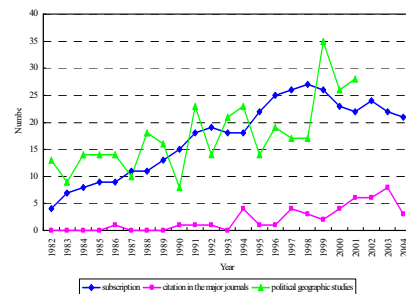
10

Subscription to international journals, 2004

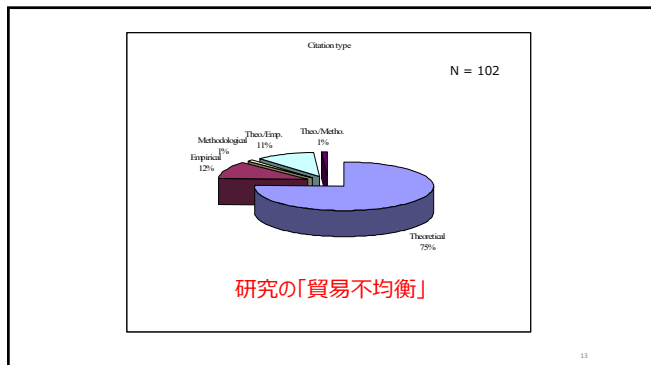


11

Subscription to and citation of PG, 1982-2004



12



### どないしたらええねん

- ・ ナショナル・スクールや言語圏間の研究実践の差異を踏まえる
    - ・ 盲目的に欧米理論を唱道しない
    - ・ 境界研究など国境をめぐる地理的基盤の差異は理論上無視できない
  - ・ どう適用できるか自らのフィールドで考える
    - ・ 実証研究での検証
  - ・ その成果を発信する
    - ・ 双方向的学術コミュニケーションへ
    - ・ 長期的課題
- 14

### 近年の研究動向 (1)

- ・ Yamazaki, et al. (2012)
    - ・ IGU京都地域会議開催に先立つ『人文地理』英文特集
    - ・ 地理学における1980年代からの「政治的」転回の日本への影響
    - ・ 1993年にIGU世界政治地図委員会東京会議開催
    - ・ 高木彰彦他編 (1998) 『アジア太平洋と国際関係の変動』古今書院
    - ・ 高木彰彦編 (2002) 『日本の政治地理学』古今書院
    - ・ 水内俊雄編 (2005) 『空間の政治地理 (シリーズ人文地理学第4巻)』朝倉書店
    - ・ 山崎孝史 (2010) 『政治・空間・場所』ナカニシヤ出版
    - ・ 研究者による国際発信
  - ・ 日本における伝統地政学研究
  - ・ 地政学の批判的アプローチ
  - ・ 環境問題研究
- 15

### 近年の研究動向 (2)

- ・ 山崎 (2016)
    - 『人文地理』学会展望 (2015年)
    - ・ 地理学教科書に「政治地理」関連項目
    - ・ 地理学外 (内) での境界・領土研究の活発化
    - ・ 境界と関連する移民研究
    - ・ 領土問題と伝統地政学の再活性化
    - ・ イスラム圏やEUでの国家領域性の変容
    - ・ 軍事・軍隊に係る研究
    - ・ 都市政治
    - ・ 選挙地理学
    - ・ 行政・公共政策 (障がい者福祉) 研究
    - ・ サイバー空間論
    - ・ 環境問題研究
- 16